

はじめよう!

地域 みんなで育てる公園 インクルーシブな遊び場づくり

公園の遊び場はみんなのための場所。でも本当に「みんな」が楽しく遊んでいますか？
新たな公園のあり方「インクルーシブな遊び場」について、一緒に考えてみましょう。

インクルーシブな遊び場って なに？

個人の特性や背景などの違いにかかわらず
あらゆる子どもがともに遊び、
育ち合える場です。

子どもは遊びを通して …



| |
|---------------|
| 自分を取りまく世界と出会う |
| 他者を知る |
| 自分を知る |
| 遊 び |

遊びは子どもの成長と発達に不可欠なもので、年齢や性別、能力、経済的・社会的背景などの違いにかかわらず「すべての子ども」に遊びが必要です。
そこで身近な外遊びの場である公園を、あらゆる子どもに開かれた「インクルーシブな遊び場」につくり変える取り組みが始まっています。

Q. あなたのまちの公園にはどんな遊びがあり、どのように利用されていますか？

インクルーシブな遊び場って なぜ必要なの？

これまで物理的・心理的バリアによって、
公園の遊び場を利用できない人たちが
いました。
すべての子どもが歓迎され、
地域の多様な人々が交流できる
場が求められています。

たとえばこんな声が…

私もみんなと一緒に遊びたい！
でも車いすだから…

物や環境の壁は
心の壁にも！



遊び場では子どもの介助につきっきり。
周りの視線も冷たくて、出かけづらい…

障害のある子や外国にルーツのある子たちと、
どう接していいかわからない。
会ったことがないから…



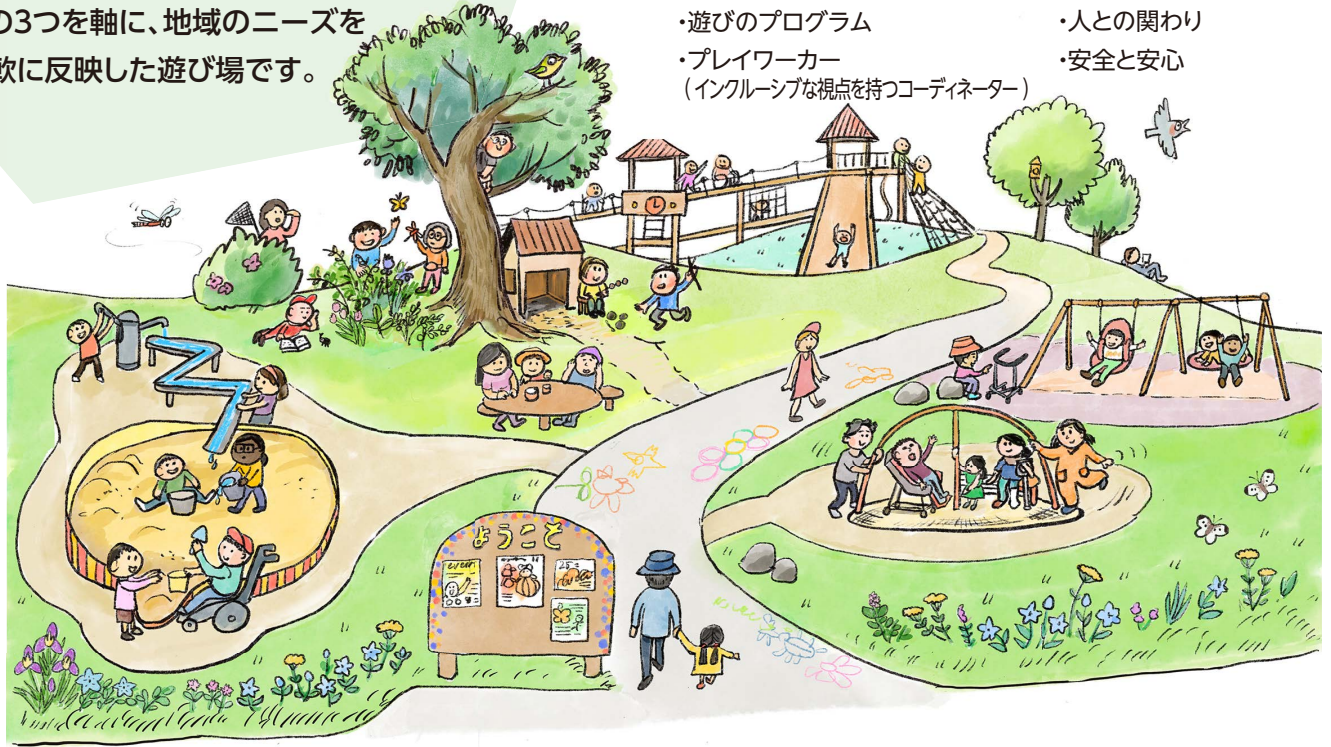
公園にあるバリアは、子どもの遊びの機会だけでなく、
地域の人々の出会いや相互理解の機会も妨げます。
遊び場をだれもが公平に利用できる場にするだけで、
すべての子どもの成長と発達を支援できます。
また人々の交流が促され、多様性が尊重されるインク
ルーシブな地域社会づくりにもつながります。

Q. あなたのまちの多様な人々は、公園の遊び場にどんなニーズを抱えていますか？

インクルーシブな遊び場って どんなところ？

- ① だれもが利用できる
- ② 遊びが豊かである
- ③ 人や地域とゆるやかなつながりがある

この3つを軸に、地域のニーズを柔軟に反映した遊び場です。



Q. あなたのまちにほしいインクルーシブな遊び場は、どんなところですか？

地域や公園によって求められる遊び場の姿はさまざまです。大切にしたいポイント(観点)を押さえながら、デザインや活用の仕方を自由な発想で工夫し、地域に根ざした特色あるインクルーシブな遊び場を創造していきましょう。

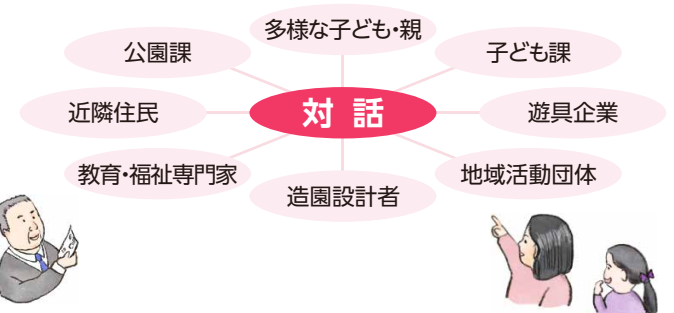
たとえばこんな観点で…

- ・アクセスの保障
- ・遊びや挑戦の選択肢
- ・遊びのプログラム
- ・プレイワーカー
(インクルーシブな視点を持つコーディネーター)
- ・落ち着ける場所
- ・自然の要素
- ・人との関わり
- ・安全と安心

インクルーシブな遊び場って どうつくる？ どう育てる？

子どもを含む地域の多様な人たちが参加し、「対話」を重ねて取り組みます。

たとえばこんな人たちと…



遊び場づくりのプロセス



プロセスの初期段階から立場の異なる人たちで対話を重ね、地域住民とも連携しながら一緒に作り上げていきます。遊び場の完成後は、あらゆる子どもが訪れ、生き生きと遊んでいるかを検証し、より有意義な活用に向けてハードとソフトの改善を重ね、育てていきましょう。

Q. あなたのまちでインクルーシブな遊び場を実現するなら、どんな人たちと協力しますか？

公園の遊び場からはじめよう! インクルーシブな地域社会